

## 小日向台町小学校避難所運営訓練実施報告

日	時	平成29年12月3日（日）9時00分から12時30分
場	所	小日向台町小学校 校舎及び校庭、体育館
小日向台町小学校 避難所 対象町会		① 小日向台町町会 ② 茗荷谷町会
参加者		① 避難所運営協議会 ② 一般参加者 ③ 小日向台町小学校教職員 ④ 小日向台町小学校 PTA ⑤ 大塚地区民生・児童委員 ⑥ 小石川消防署 ⑦ 小石川消防団 ⑧ 小日向台町小学校避難所開設班（文京区職員） ⑨ 文京区防災課 <span style="float: right;">合計97名</span>
訓練までの経過		① 7月21日 第1回避難所運営協議会 ・訓練日時の決定 ・協議会による訓練案の提示 ② 10月12日 第2回避難所運営協議会 ・協議会による訓練案、訓練レイアウトの提示 ・備蓄倉庫内の物資を一覧表で確認 ③ 11月17日 第3回避難所運営協議会 ・協議会による詳細な訓練案、訓練レイアウトの提示 ・訓練の役割分担決定 ④ 2月7日 第4回避難所運営協議会 ・訓練の振り返り、反省
内容		①避難所開設訓練 ②体験型訓練（AED体験、消火体験、起震車、煙体験ハウス） ③備蓄倉庫内の物資確認  〈①避難所開設訓練〉では避難者援護班、総務情報班、給食物資班に分かれ、各班長指示のもと避難所開設の訓練を行った。班員は受付、避難者誘導、災害用特設公衆電話設置、掲示板設置、居住スペース設営、炊出しなどの活動を行った。 〈②体験型訓練〉では消防署・消防団指導による AED 体験、消火体験、区による起震車、煙体験ハウスを実施した。 今回の訓練では〈③備蓄倉庫内の物資確認〉をメインテーマとした。備蓄倉庫内の物資を実際に校庭に運び出し、内容の確認を行った。さらに備蓄倉庫に物資を戻す際には、探し出す時に分かりやすいように協議会役員が考えたレイアウトに沿って物資の配置を整理した。 訓練参加者には協議会及び防災課から参加賞を配布した。

実 施 写 真



災害時特設公衆電話設置



受付準備



炊出し訓練



AED 体験



備蓄物資確認

避難所開設班チーフからのコメント

今回の訓練では、備蓄倉庫内の物品を外に出して中身と使用方法を確認するとともに、必要ときに物品を取り出せるよう、区分けした上で収納を行いました。参加者の方々が避難所にどのような物品があり、活用できるのかを積極的に情報収集されており、心強く感じました。どのような物品がどの程度備蓄されており、活用できるのかを少しでも多くの方々に知っていただき、避難所運営時に活かしていただくとともに、各家庭での備蓄の参考にしていただく機会になったと思います。